

柿沢義貞を逮捕

200万円超貰収容疑秘書數人も本格捜査



柿沢未途衆院議員

東京都江東区長選をめぐる事件で東京地検特搜部は、衆院議員の柿沢末途・前法務副大臣(52)＝東京15区、自民党を離党＝について、総額200万円超の現金を区議会連動費に渡すなどした公職選舉法違反(買収)容疑とし、選舉中に有料ネット上で広告を流した同法違反容疑で、28日にも逮捕する。

明、特搜部はこの一連の騒動を押収しており、秘書室についても柿沢氏と並んで謀した疑いで本格的に取り調べる方針だ。

保守分裂の構図となつた4月の江東区長選では、柿沢氏が支援した本村弥生・前区長(58)が勝利した。関係者によると、柿沢氏は2月から、複数

の秘密を通じて豊田区議に20万円の提供を打診。5人が受領し、うち2人は後で返したとされる。秘書は、区議が現金を受領したり打診を断つたりした状況を一覽表にまとめ、柿沢氏に報告したという。買収罪は現金提供を申し込んだ段階で成立し、特捜部は約100万円分について木村氏へ

の支援を求める裏収も
取申し込みにあたる疑い
があるとみて居る。
特捜部は、木村國賞の
選舉を指揮した衆議院の
元議員に対し、選舉後に
「闇問料」として支払った
計約100万円などについ
ても、区長選の謝礼の賄
いがあるとみて捜査。木
村陣営のスタッフに支払
った数十万円の報酬も済

勧説費収にあたる額いか
あるとみており、総額二
百数十万円が立件対象に
なる風通しだ。

一方、柿沢氏は任意取
取で、区議への現金は区
長選と同時にあつた区議
選の「陣中見舞い」と反
論。顧問料は「事務所の
体制強化のため」、スタッ
フへの報酬は「事後的
に知った」などと違法性

柿沢氏は木村陣営が選挙中に流した違法な有料ネット広告について、自身が木村氏に勧めた責任を取って10月末に法務副大臣を辞任した。特捜部は有料ネット広告の廃止でも逮捕する方針で、2013年施行の改正公選法で設けられた規制の初適用になるとみられる。

勧買賣取にあたるが如きか

を否定したといふ